

一貫加工体制で少量多品種のオーダーをスピード納入



菊地光学精工株式会社

(医療機器、測定機、顕微鏡、半導体部品露光装置用精密レンズ部品加工)

部品・部材

電子・光学

事業概要と躍進の契機

思い切った業態転換により新生菊地光学精工の誕生

昭和37年にカメラレンズの生産を開始。昭和60年にはAFカメラの出現で生産はピークを迎え、社外含めて450人規模まで膨れあがったが翌年にはライバルの出現で一気に10分の1に減少。以後AF戦争に振り回され業績

Turning Points

が乱高下したため規模を縮小し、医療用、測定器用等高精密多品種小ロット体制へ移行。量産品が海外へ移行する中で見事に生き残りに成功。以後、堅実な発展を遂げてきた。

会社の強み・主力商品など

反射率0.1%を実現したコーティング技術

「堺は光学レンズ製造の過疎地」と謙遜するとおり、現在の産地は北関東が中心。しかし、同業者の少なさがこの業界では珍しい荒研削から接合組立てまでの一貫加工体制を築き上げるきっかけにもなった。多様なレンズの加工工程を全てこなすため、工作機械もオリジナルが多

Strength

い。コーティングの技術力は通常8%程度のある反射率を0.1%まで低反射化するなど極限を極め、国内でも数社しかできないシンドリカルレンズ(円筒面レンズ)の研磨も可能など、高い技術力が多数の商品を生み出している。

今後の事業展開

環境対応ガラスへの取組とさらなる超精密要求への対応

光学レンズの世界にはまだまだ職人の技に頼る部分も多く、今後はいそれをいかに標準化していくかが課題。環境問題に配慮した鉛フリーガラスは透過率が悪いの

Vision

でコーティング技術で補い、そしてさらなる超精密要求にも応えていく。

企業データ

所在地：〒599-8233 大阪府堺市中区大野芝町213-1

TEL：072-235-2131 FAX：072-235-3577

URL：<http://www.kikuchi-kougaku.co.jp>

設立：1962年（昭和37年）

代表者：代表取締役 菊地 敏則

従業員：62名

資本金：3000万円

